

平成27年度

(第51期)

事業計画書

収支予算書

自 平成27年 1月 1日

至 平成27年12月31日

目 次

- | | |
|---------------|-----------|
| 1.平成27年度事業計画 | ・・・P.1－6 |
| 2.平成27年度収支予算等 | ・・・P.7－12 |

平成27年度事業計画書

1. 平成27年度事業計画

概況

平成27年度の収支状況は、会議開催件数全般が平年度ベースへの回復は難しいと予想され、国の耐震工事の影響があった昨年、一昨年に引き続き厳しい状況となるが、積極的な誘致と効率的な会議運営等効率的かつ効果的な運営により収支改善に取り組む。また、公益財団法人として、(1) 積極的な誘致と効率的かつ効果的な会議運営、(2) 人材育成、(3) 自主企画事業及び広報PR活動、(4) 国際貢献等の諸課題にも鋭意取り組む。

(1) 平成27年度業務運営について

① 効率的かつ効果的な運営による収支改善について

(ア) 経費の削減並びに事務の効率化の一層の推進

各種契約案件の競争性の一層の徹底及び業務手順の見直しによる事務の効率化並びに事務管理経費の節減の一層の徹底を図る。

(イ) 積極的な誘致と効果的な会議運営

- 当館の強みを活かせる会議分野に重点を置いた誘致営業に努める。
グローバルMICE戦略都市に所在する国立の国際会議場として、関係機関と緊密に連携し、オール・ジャパン、オール・京都体制での国際会議開催件数の増加及び開催比率の向上に努める。
- 耐震改修工事を終え、設備機能を充実し、リニューアルオープンしたメインホール（大会議場）を始めとした各会場の更なるPR等に積極的に取り組む。
- 海外所属団体データベースの活用により、国際会議の情報収集力を強化し、市場の動向をスピーディーに把握する。
- 誘致をより効果的に行えるよう誘致体制や方法の見直しを図り、新たなテーマ・分野等を加えて誘致に努める。
- マーケティング強化によりリピーター、固定顧客への更なる浸透を図る。

②開催予定会議の状況について

平成27年度の会議開催件数は、国際会議44件、国内会議150件、合計194件が見込まれているが、今後更に誘致活動を展開することにより、件数増加に努める。

(ア) 主な国際会議

催 事 名	期 間	参加人数
公益社団法人日本青年会議所 2015 年度 京都会議	2015/1/22 ～ 1/25	14,000
第 38 回日本眼科手術学会学術総会	2015/1/30 ～ 2/1	4,000
「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式	2015/2/7 ～ 2/7	1,000
第 29 回日本医学会総会 2015 関西	2015/4/11 ～ 4/13	15,000
日本顕微鏡学会第 71 回学術講演会	2015/5/13 ～ 5/15	1,000
第 15 回国際放射線研究会議	2015/5/25 ～ 5/30	1,200
第 7 回国際新興・再興豚病学会	2015/6/21 ～ 6/24	800
第 3 回プロセス化学国際シンポジウム	2015/7/13 ～ 7/14	1,000
第 37 回日本呼吸療法医学会学術総会 同時開催 Asia-Pacific ELSO 2015	2015/7/17 ～ 7/19	2,500
第 32 回日本心電学会学術集会 ・第 30 回日本不整脈学会学術大会	2015/7/29 ～ 8/1	3,000
第 17 回世界経済史会議	2015/8/3 ～ 8/7	1,000
第 12 回世界獣医麻酔会議	2015/8/31 ～ 9/4	2,000
第 21 回日本摂食・嚥下リハビリテーション 学会学術大会	2015/9/11 ～ 9/13	5,000
科学技術と人類の未来に関する 国際フォーラム第 12 回年次会合	2015/10/4 ～ 10/6	900
第 53 回日本癌治療学会学術集会	2015/10/29 ～ 10/31	10,000
第 31 回京都賞授賞式・記念講演会 ・記念ワークショップ	2015/11/10 ～ 11/12	3,000
第 31 回日本診療放射線技師学術大会	2015/11/21 ～ 11/23	3,000
世界工学会議 2015	2015/11/29 ～ 12/5	2,000

(イ) 主な国内会議

催 事 名	期 間	参加人数
第 18 回日本病態栄養学会年次学術集会	2015/1/10 ～ 1/11	4,000
第 45 回日本心臓血管外科学会学術総会	2015/2/16 ～ 2/18	3,000
第 51 回日本腹部救急医学会総会	2015/3/5 ～ 3/6	2,010
第 89 回日本感染症学会学術講演会	2015/4/16 ～ 4/17	2,500
統合医療シンポジウム	2015/4/26 ～ 4/26	1,200
洛中悠楽 第 30 回 JOCP 全国大会	2015/7/3 ～ 7/5	2,000
第 52 回日本糖尿病学会近畿地方会	2015/11/14 ～ 11/14	1,800

③人材育成

研修については、国立の国際会館を担うに相応しい職員としての資質の向上、能力の開発や専門スキルの習得を目的として、昨年に引き続き、(ア) 各界、各層で活躍されている有識者や専門家を招いた研修会(情報交換会)の開催(毎月)、(イ) 役職や勤続年数等職務、職階等に応じたマネージメント、コミュニケーション強化に関する研修会の開催、(ウ) 施設運営、会議マーケティング、誘致営業の手法を学ぶための加盟団体主催各種会議や研修会への積極的参加等に取り組んでいく。また、人材育成のツールである人事評価制度について適切な見直しや職員間の意思疎通の徹底を行い、これに基づく「個別面談」にも継続的に取り組む。

④コンプライアンスの充実・強化について

(ア) 契約手続きの透明性の確保

昨年に設置した、館長を委員長とする「調達審査委員会」を定期的に開催し、管理業務等の各種契約に関する制度、各種ルール等についての審議や個別案件の審査を行い、一層の透明性の確保に努める。

(イ) ルールに準拠した業務運営

平成 23 年 3 月の公益法人化以降、各種規程の制定、見直し及び昨年

の「情報セキュリティ管理規程」の制定により、ほぼ規程の整備は完了した。今年度は、監事監査等と緊密に連携し、国立の会議場施設を運営する公益財団法人としてルールに準拠した業務運営に一層取り組む。

(ウ) 監事監査と連携した内部監査の実施

監事と緊密に連携を行い、「会計処理」、「各種契約」、「情報管理」等の業務執行状況についての内部監査を実施する。

⑤ 自主企画事業及び広報PR活動について

(ア) 自主企画事業の充実

国立の会議場を運営する公益財団法人として、国際交流や日本文化・学術・産業等の普及及び地域貢献に寄与するための各種の自主企画事業に積極的に取り組む。

- 庭園イベント（桜を愛でる会、春・秋「宝松庵」茶会等）、「感謝の夕べ」（市等の外国の姉妹・友好都市などをテーマにした各種企画や花火大会）の開催。
- 留学生対象の見学会及び国際交流に関するセミナー等の開催。
- 平成28年の開館50周年を翌年に控えたプレイベントの開催（日本文化、芸術や伝統芸能等に関するセミナーの開催）。

(イ) 広報誌「ICC Kyoto」の発行

当館の四季折々の情報をタイムリーに盛り込んだ広報誌「ICC Kyoto」を日本語版年4回、英語版年1回発刊。

(ウ) デジタルサイネージの活用

地下鉄「国際会館駅」から当館までの連絡地下通路に設置しているデジタルサイネージ（8台）の発信データの改良を重ね、会議の開催情報や自主企画催事等の有益な情報をタイムリーに提供。

⑥ 国際貢献 — 会議場運営・国際会議運営ノウハウの支援活動の実施 —
当館の目的の重要な一つである国際貢献に積極的に取り組む。

今年度に行った調査に引き続き、ミャンマー国に対して、当館の会議場運営や国際会議の運営に関するノウハウを伝えるため、当館の専門スタッフが現地に出張し、直接指導及び研修を行う。その他、途上国支援の対象を広げていく。

(2) 中長期計画について

26年度に施設拡充の予算査定があったことを受け、当館が今後10年間に亘り取り組むべき課題や目標を示した下記を骨子とする「国立京都国際会館 中長期計画2015-2024」骨子を策定したのを踏まえて、27年度は、この中長期計画の着実な実施に向け、具体的な行動計画、工程を定めたアクションプランの策定を行う。

－中長期計画骨子－

「重要な国際会議の舞台であり続ける」ため、下記の5つの施策目標を掲げる。

- ① 積極的な MICE 誘致・開催支援を推進
- ② 安定的な財務基盤と成長サイクルの確立
- ③ より良い組織風土の構築と人材の育成
- ④ 品格を維持し多様化に適応する施設
- ⑤ 国際貢献・地域貢献に寄与

(3) 会館施設の整備及び拡充の見通しについて

【施設諸整備計画】

施設整備計画については、厳しい財団収支状況の中、修繕や設備投資を要する事項について、事業効果及び緊急性等の観点から優先順位を付け、計画的な整備を図る。また、併せて、今後の施設拡充を見据え、会議形態の多様化にも対応できる会議場として、更なる機能性、利便性の向上に努める。

【平成27年度の主な施設整備及び修繕計画】

① 資産取得事業	合計 70 百万円	
コンベンションシステムの改修 (26年度～27年度の継続事業)		35 百万円
新施設に係る設計費		20 百万円
館内案内サインの改修等		8 百万円
館内ネットワーク機器の更新		7 百万円
② 大型修繕・点検	合計 40 百万円	
コージェネレーションシステム修繕改修		26 百万円
建築物避難安全検証法による点検の実施		10 百万円
エレベーターワイヤー更新工事		4 百万円

【施設拡充】

施設拡充については、国において、下記の事業概要にて実施される。

【事業概要】

事業名	国立京都国際会館展示施設
	展示ホール 2,000 m ² を主要施設とする多目的展示施設（地上 2階建、延べ床面積約、4000 m ² ） 総事業費 33.0 億円
調査	平成26年度
設計	基本設計：平成26年度、実施設計：平成27年度
工事	着工：平成28年3月（予定） 完成：平成30年下半期（予定）

（４）役員（理事・監事）及び評議員の改選について

3月開催の定時評議員会において、理事8名及び監事2名並びに評議員23名が改選となる。次期役員及び評議員については、候補者を2月上旬開催予定の役員等候補選出委員会において選定し、3月開催の定時評議員会で選任する。

平成27年度収支予算書

2. 平成27年度収支予算等

(1) 平成27年度収支予算等について

収入は、使用料収入13億5千万円に、その他収入1億16百万円を加え、合計で14億66百万円の見込み（対前年度比で3億73百万円の増加）。

支出は、15億14百万円の見込み（対前年度比で1億42百万円の増加）。

この結果、平成27年度予算案における収支は、会場使用料が依然として回復していないことから、増収や経費削減に努めるものの、▲48百万円の損失が見込まれる。

(2) 資産取得事業と大型修繕・点検について

平成27年度は、資産取得事業70百万円、大型修繕・点検40百万円の執行を予定している。※詳細については、前掲の【平成27年度の主な施設整備及び修繕計画】のとおり。

(3) 施設拡充（新展示施設）における「京都らしい設え」への備えについて

平成30年度完成予定の新展示施設におけるロビーや貴賓室等の「京都らしい設え」について、財団の資産取得事業として実施することとし、平成27年度予算において、その為のデザイン企画及び設計業務委託費用として、20百万円を計上する。

1. 平成27年度 予定貸借対照表

(単位：千円)

科 目	27年度予算
I. 資産の部	
1. 流 動 資 産	
現金	5,000
預金	585,863
未収金	150,000
販売物品	60
仮払消費税	0
流動資産合計	740,923
2. 固 定 資 産	
基本財産	
設立時基本財産	375,950
公益目的保有財産	224,050
計	600,000
有形固定資産（通常運用）	
建物仮勘定	20,000
建物附属設備	294,023
車両運搬具	4,822
工具器具備品	417,726
立木	1,000
茶室建物	74,243
茶室附属設備	0
茶室備品	3,018
(計)	814,832
減価償却累計額	△ 581,593
計	233,239
有形固定資産（第一次運用）	
工具器具備品	55,725
減価償却累計額	△ 49,700
計	6,025
有形固定資産（第二次運用）	
工具器具備品	19,875
減価償却累計額	△ 19,875
計	1
有形固定資産（第三次運用）	
工具器具備品	53,046
減価償却累計額	△ 53,045
計	1
有形固定資産（第四次運用）	
工具器具備品	88,949
減価償却累計額	△ 88,755
計	193
有形固定資産（随時運用）	
工具器具備品	487,011
減価償却累計額	△472,695
計	14,316
無形固定資産	
会議ソフトウェア	35,000
通信加入権	725
(計)	35,725
減価償却累計額	△7,000
計	28,725
基本財産計	882,500
特定資産	
退職給付資金	250,000
特別修繕資金	110,000
資産取得資金	106,000
計	466,000
特定資産計	466,000
固定資産合計	1,348,500
資産合計	2,089,423

(単位：千円)

科 目	27年度予算
II. 負債の部	
1. 流 動 負 債	
未払費用	81,373
前受金	30,000
一時預り金	10,000
職員預り金	9,000
仮受消費税	7,950
未払法人税等	0
流動負債合計	138,323
2. 固 定 負 債	
保証預り金	60,600
退職給付引当金	250,000
特別修繕引当金	110,000
固定負債合計	420,600
負債合計	558,923
III. 正味財産の部	
1. 指 定 正 味 財 産	
設立時基本財産	375,950
指定正味財産合計	375,950
2. 一 般 正 味 財 産	
公益目的保有財産	224,050
事業運営財産	282,500
資産取得準備金	106,000
繰越金	542,000
一般正味財産合計	1,154,550
正味財産合計	1,530,500
負債及び正味財産合計	2,089,423

平成27年12月31日時点（予算）

2. 平成27年度 予定正味財産増減計算書内訳表

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益事業				収益事業					法人会計	内部取引 消去	合 計
	公益1	公益2	共通	小計	収益1	収益2	収益3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
① 使用料	1,080,000	0	0	1,080,000	270,000	42,500	41,000	0	353,500	0	0	1,433,500
会場使用料	1,080,000			1,080,000	270,000				270,000			1,350,000
飲食施設使用料				0		40,000			40,000			40,000
駐車場使用料				0			41,000		41,000			41,000
その他使用料				0		2,500			2,500			2,500
② 地下鉄連絡通路料				0			6,800		6,800			6,800
③ 自主企画事業料		15,000		15,000					0			15,000
④ 基本財産等運用益	8,000			8,000					0			8,000
⑤ その他収入				0		3,000			3,000			3,000
経常収益計	1,088,000	15,000	0	1,103,000	270,000	45,500	47,800	0	363,300	0	0	1,466,300
(2) 経常費用												
① 事業費	1,147,757	29,927	0	1,177,684	286,939	7,372	27,847	0	322,158	0	0	1,499,842
人件費	323,098	4,207		327,305	80,774	4,207	4,207		89,188			416,493
委託費	164,416	2,110		166,526	41,104	630	14,630		56,364			222,890
運営費	544,327	1,635		545,962	136,082	1,585	560		138,227			684,189
維持管理費	115,916	1,475		117,391	28,979	950	950		30,879			148,270
地下鉄連絡通路維持費				0			7,500		7,500			7,500
自主企画事業費		20,500		20,500					0			20,500
② 管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,458	0	14,458
人件費				0					0	4,207		4,207
法人運営費				0					0	9,021		9,021
維持管理費				0					0	1,230		1,230
経常費用計	1,147,757	29,927	0	1,177,684	286,939	7,372	27,847	0	322,158	14,458	0	1,514,300
当期経常増減額	△ 59,757	△ 14,927	0	△ 74,684	△ 16,939	38,128	19,953	0	41,142	△ 14,458	0	△ 48,000
2. 経常外収益												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	20,571	20,571	0	0	0	△ 34,142	△ 34,142	13,571	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 59,757	△ 14,927	20,571	△ 54,113	△ 16,939	38,128	19,953	△ 34,142	7,000	△ 887	0	△ 48,000
法人税等								△ 7,000	△ 7,000			
当期一般正味財産増減額	△ 59,757	△ 14,927	20,571	△ 54,113	△ 16,939	38,128	19,953	△ 41,142	0	△ 887	0	△ 48,000
一般正味財産期首残高			1,204,769	1,204,769						△ 2,219		1,202,550
一般正味財産期末残高	△ 59,757	△ 14,927	1,225,340	1,150,656	△ 16,939	38,128	19,953	△ 41,142	0	△ 3,106	0	1,154,550
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			375,950	375,950								375,950
指定正味財産期末残高			375,950	375,950								375,950
III 正味財産期末残高	△ 59,757	△ 14,927	1,601,290	1,526,606	△ 16,939	38,128	19,953	△ 41,142	0	△ 3,106	0	1,530,500
	政府等による国際 会議、学術会議等 に関する事業	国際交流等に關 する事業			公益目的事業に 該当しない催事 に関する事業	飲食・宿泊・売 店等に関する事 業	有料駐車場等に 関する事業					

平成27年度収支予算書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

収 入 の 部			
科 目	当年度(H27)	前年度(H26)	増減
使用料	(1,433,500)	(1,057,500)	376,000
使用料収入	1,350,000	1,000,000	350,000
飲食宿泊施設使用料収入	40,000	27,000	13,000
駐車場収入	41,000	28,000	13,000
その他使用料	2,500	2,500	0
利息収入	(8,000)	(9,000)	▲ 1,000
基本財産利子	7,900	8,900	▲ 1,000
受取利息	100	100	0
その他収入	(3,000)	(2,200)	800
地下鉄連絡通路収入	(6,800)	(6,500)	300
自主企画事業収入	(15,000)	(18,000)	▲ 3,000
合 計	1,466,300	1,093,200	

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで

支 出 の 部			
科 目	当年度(H27)	前年度(H26)	増減
人件費	(420,700)	(382,100)	38,600
職員給料	242,500	228,000	14,500
期末手当	76,900	69,800	7,100
退職金	38,800	22,600	16,200
通勤手当	9,000	8,200	800
法定福利費	50,500	50,500	0
福利厚生費	3,000	3,000	0
委託費	(225,000)	(241,000)	▲ 16,000
会場設営費	38,000	38,000	0
駐車場費	14,000	14,000	0
館内案内費	23,000	24,000	▲ 1,000
警備費	32,000	34,000	▲ 2,000
清掃費	42,000	46,500	▲ 4,500
電気機械保守費	63,000	66,000	▲ 3,000
派遣費・報酬等	13,000	18,500	▲ 5,500
運営費	(691,100)	(547,100)	144,000
電力使用料	56,000	54,000	2,000
ガス使用料	80,000	77,000	3,000
水道使用料	3,500	3,900	▲ 400
広報宣伝費	5,000	5,200	▲ 200
通信運搬費	6,000	5,800	200
運営用消耗品費	13,000	16,200	▲ 3,200
会場運営諸費	527,600	385,000	142,600
管理費	(149,500)	(171,100)	▲ 21,600
修繕保守費	30,000	30,000	0
庭園保守費	26,500	26,500	0
交際接待費	2,000	2,500	▲ 500
旅費	6,000	8,000	▲ 2,000
事務印刷費	10,000	11,000	▲ 1,000
保険料	2,000	2,100	▲ 100
会議行事費	1,000	1,500	▲ 500
諸会費分担金	4,000	5,000	▲ 1,000
諸費	3,000	7,000	▲ 4,000
減価償却費	65,000	77,500	▲ 12,500
地下鉄連絡通路費	(7,500)	(7,500)	0
自主企画事業費	(20,500)	(24,000)	▲ 3,500
当期収支差額	(▲ 48,000)	(▲ 279,600)	231,600
合 計	1,466,300	1,093,200	